

正覚寺だより

スジャータ

54

平成25年(2013)

7月1日発行

〔スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である〕

法然共生

五重相伝のご案内

お盆の行事



夜桜(庄原市東城町) 撮影：本通8丁目 本庄 勝利さん

〔住職のつぶやき〕

半分あいた米俵

— よく聞こう、よく見よう —



て私達がまだ席を立たないうちに、この女性達はどよどよと入場して来たのである。

これは、映画館側の運営の責任でもある。

(3)

「喫茶店のしずけさ喧騒けんそうにやぶらるる

女7人にして美術館とは」

知人の女性が、同性の姦かしましさを詠んだ句である。

絵を楽しんだ後、美術館に併設された静かなティールームで余韻よゐんに浸っていると、女性7人のグループが賑にぎやかにやって来た。声が大きくて、そのおしゃべりの煩うるさいこと。

「何とかしてよ」

そんな状況を詠んだ句だと思う。

私も美術館へはよく出かけるが、絵を観に来たのか話しに来たのか分からない人達に遭遇することがある。特にデパートで催されている展覧会はひどい。

「そんな話は、ここじゃなく井戸端でしたら!」

「美術展へは、ひとりで来てくれませんか?」

と、思うことが度々たびたびある。

(ただし私と友人達で毎年開催している互楽会展は例外で、大声でおしゃべりOKの絵画展です、念のため)

(4)

映画館や美術館だけではない。

そして女性だけではない。声の大きい男性グループに出会うこともある。誰もが気をつけなければならないことだ。

私達は歳を重ねると、また団体になると、周りの状況が見えにくくなる。

「年寄りねんよりは半分あけた米俵

口が軽うて尻しりの重さよ」

身体は動かなくなり、口ばかりが達者になる。困ったことですね。

もちろん若い人達の中にも、そんな人はいる。

私達、老若男女を問わず口は一つだけど、耳と目は二つづつある。話すことの2倍は聞きなさい、見なさい、という事だろう。

「口を閉じて耳を澄すみましていると

世間がよく聞こえる」

「口を閉じて眼を見開ひらいていると

世間がよく見える」

そんな気がしますが、いかがでしょうか?

映画を見ながら感じたもう一つの事でした。



広島県立美術館



お盆の行事

どうぞ
お参り
下さい

お盆をむかえる

たな ぎょう ほう よう 棚経法要

7月21日(日)

■ 朝9時から11時まで

当日の駐車場について

※法要当日が参議院選挙投票日になった場合、いつもの駐車場を借りることが出来ません。恐れ入りますが、公共交通機関を利用してお参り下さい。選挙でなければ、例年通り駐車可能です。

同封の水色の回向袋え こうぶくろに棚経回向ご希望の戒名をご記入の上、当日ご持参下されば回向した後、「棚経回向之證」をお渡しいたします。

それぞれの家庭の仏壇に祀って、お盆をお迎え下さい。



昨年の回向之證はどうする？

- 昨年の「棚経回向之證」がまだ仏壇にある方は、当日ご持参下さい。
- 後日まとめて浄火供養(焼却)いたします。

感謝の気持ちで

せ が き え 施餓鬼会

8月15日(木)

■ 朝9時から11時まで

当日の駐車場について

※当日、駐車場はあります。係の方の指示に従って、例年の駐車場にとめて下さい。



- 同封の黄色の回向袋とう ばに塔婆回向ご希望の戒名をご記入して、当日ご持参下さい。
- 塔婆に書きかえてご回向致します。

自筆コーナー

- 待ち時間が長くなるので、戒名を塔婆へ自分で書かれても結構です。
- 玄関前に筆ペンを用意して自筆コーナーを設けていますからご利用下さい。

初盆を迎える方 7月15日までにご連絡下さい

- 市内で特に希望される家にはお参り致します。また、正覚寺で行うことも出来ます。
- ご希望の方は7月15日までにご連絡下さい。その後、お参りする日時を決めて、お知らせ致します。
- 棚経法要(7/21)、施餓鬼会(8/15)には、回向袋の初盆に○印をつけてお参り下さい。

5年ぶりの短期集中 仏教講座

ご じゅう そう でん
五重相伝 平成25年10月23日(水)から5日間

どうぞご参加下さい

5月に詳しい案内状をお届けしておりますので、すでに多数の参加申込みを受付けております。ぜひ多くの方々に浄土宗の教えを聞いて頂きたいと思っております。

詳しくは、電話などでお問い合わせ下さい。

●すでに院号授与の方

800年大遠忌等の時、すでに院号を授与されながら五重相伝に未参加の方は、必ずこの機会に参加してよごう誉号を頂いて下さい。

●再伝のすすめ

すでに参加経験のある方が、もう一度参加されることを「再伝さいでん」と言います。重ねて参加されることで、初めての時より一層の感銘を受け、益々信仰を深めて頂ける事と思っております。

5年前には6回目の方が1人、5回目の方が3人おられたので、記念品を贈ってその精進を称えました。



誉号のついた戒名を授与します



五重相伝のようす

大掃除

去る6月1日(土)に行いました

今年は梅雨入りが早く雨が心配でしたが、幸い曇天で予定通り盆前の大掃除が出来ました。29名もの方が奉仕して下さり短時間ですっかり綺麗になりました。

掃除のあと本堂で、参加者各家の先祖代々菩提と、参加者の身と心の健全を願って勤行(読経とお念仏)をしました。

その後、爽やかな気持ちでスイカやおにぎりを頂きながら、ひと時の歓談を楽しみました。

参加して下さった方々、どうも有り難うございました。



大本山にて修行中!! ~浄土宗教師修練道場~

住職の長男「^{らいおん}雷音」は浄土宗僧侶の資格を取得した後、短期間ながら会社勤務を経験しておりました。

そして本年4月から大本山のひとつ、京都の^{こんかいこうみょうじ}金戒光明寺にある^{しゅうれんどうじょう}浄土宗教師修練道場で更に一年間の修行に入りました。

毎朝4時起床、年中無休、ケータイやパソコンは無論、テレビもラジオも何も無い修養の日々です。種々の情報をはじめ、何もかも過剰過多の現代社会から隔離された修行僧生活は、得がたい経験であり今後の糧になるはずです。

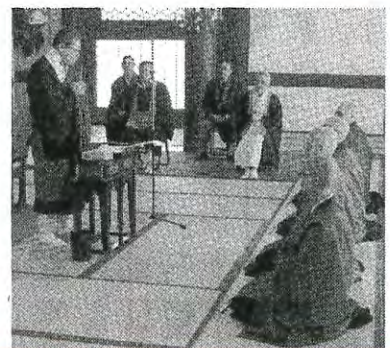
お盆には、^{じほう}自坊研修(出身寺院での実習)で帰省します。本堂での法要に参加出来ると思います。

宗教関係の全国紙「文化時報」に、その^{にゅうぎやうせんせいしき}入行宣誓式が報じられましたので転載させて頂きます。

▼浄土 教師修練道場の入行宣誓式が10日、大本山金戒光明寺で行われ、1年間の道場生活がスタートした。(写真)入行生は、伊川浩士(東京・法真寺)、神谷真淳(三河・長壽寺)、山縣雷音(広島・隨泉寺)、樹下草也(山口・快念寺)の4名で、平均年齢は23歳。毎日お勤めをする阿弥陀堂で「おんすつ宣誓・血誓する姿を、講師陣を始め管理運営委員会の山北光彦、木村弘文委員も見守った。山本正廣教学局長はこの道場は、苦修練行」を主眼としている。今後、浄土宗侶の中枢を担ってもらえるとの期待を込めて入行を許可したことを誇れないで欲しい。きつと!

年々、変わった自分を発見できるだろうと述べ、若井秀教道場長は「自ら発心して道場入りを決めたことは面接の時に確認した。今までに成満した約30名は、宗内の各方面、各地区で活躍している。浄土宗を代表する講師の指導のもと、良い僧侶」を目指して精錬を」とエールを贈った。

文化時報
2013.4.20.





心といのちの相談所

このお寺は

—高齢者、青少年、ことも問題のなやみ—

(財)浄土宗報恩明照会
浄土宗

心といのちの相談所

辛い気持ちを聴いてもらいたい

将来が不安

愛する人を亡くして淋しい

こんな時には、電話して下さい

愚痴をこぼしたい

人間関係に疲れた

0823-21-6086

受付時間：朝8時～夜8時

子供や家族のこと

いじめを受けている

法事や葬儀、お墓に関すること

生きている意味が分からない

- 悩みを話すことは、悩みを放すことにつながります。どんなことでもご相談下さい。内容や個人情報了他へ漏らす事はありませんので、遠慮なく電話して下さい。
- 日時を決めて面談いたします。また、ご希望の方には住職からお訪ねもいたします。
- もちろん相談料などは不要ですから。

感謝録

～ありがとうございます～



田原迫さんのご寄附で、皆さんが焼香される本堂の香炉こうろを電熱式の新しいものにさせて頂く予定です。



■ 秋の法要ご案内

あき ひ がん え
秋 彼岸 会

9月23日(祝)

■ 朝10時より

じゅう や ほう よう
十 夜 法 要
えい たい きょう く よう
永代経供養

11月16日(土)

■ 朝10時より

毎月の法要 休会のお知らせ

- 7月14日(日) 念仏の会
- 8月1日(木) 写経の会
- 8月14日(水) 念仏の会

- 7月・8月は休会ですから、どうぞお盆の行事にお参り下さい。
- 「写経の会」と「念仏の会」は、9月からまた再開しますので参加して下さい。

檀家会費について ○年会費/一口3,000円 ○受付/9月末日まで
本年もまた、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

あ と が き

- お盆の法要には、ご家族みなさんでお参り下さい。小さな子供さんにとっても、きっと良い経験になると思います。
- 昨年(しねん)の8月15日、盆施餓鬼会には住職のエッセイ集を配布しましたが、今年は例年のように住職が描いた団扇(うちわ)をお渡しいたします。
- 住職が趣味で描いている絵のグループ展「互楽会展」を、8月30日(金)から3日間開催致します。会場の呉市文化ホールの都合で、まだまだ暑い最中ですが、どうぞお立ち寄り下さい。もちろん入場無料です。



発行所/〒737-0033 呉市寺本町2-1 浄土宗 正覚寺
でんわ/0823-21-6086 FAX/0823-22-9922